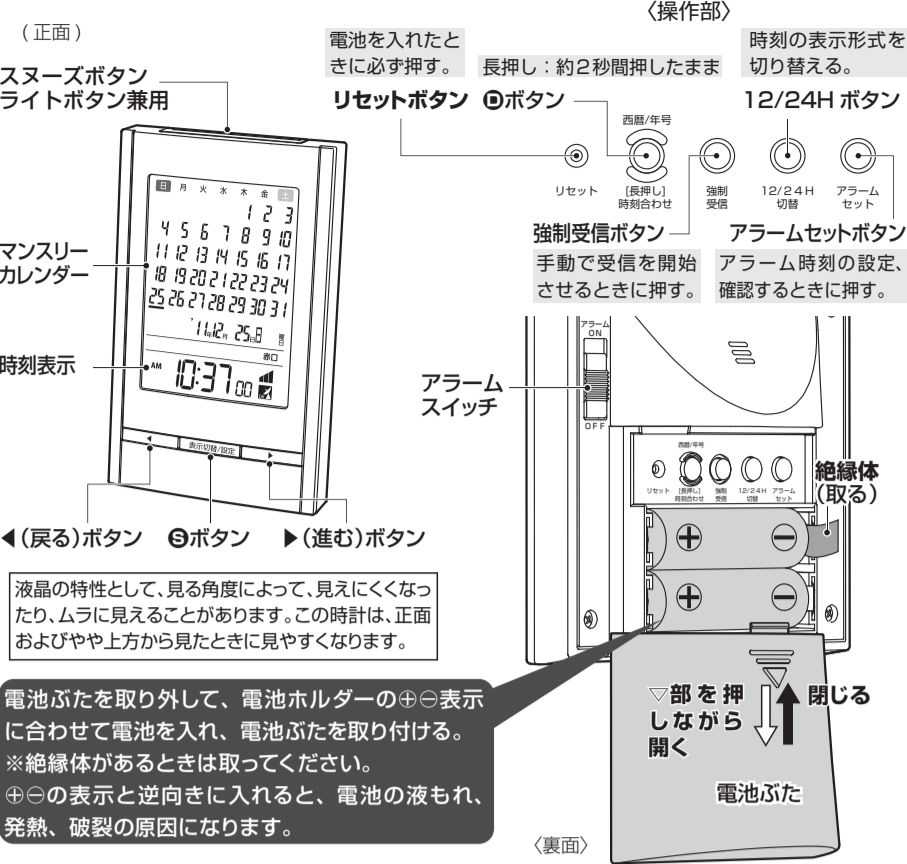


1. 電池を入れて時刻を合わせる

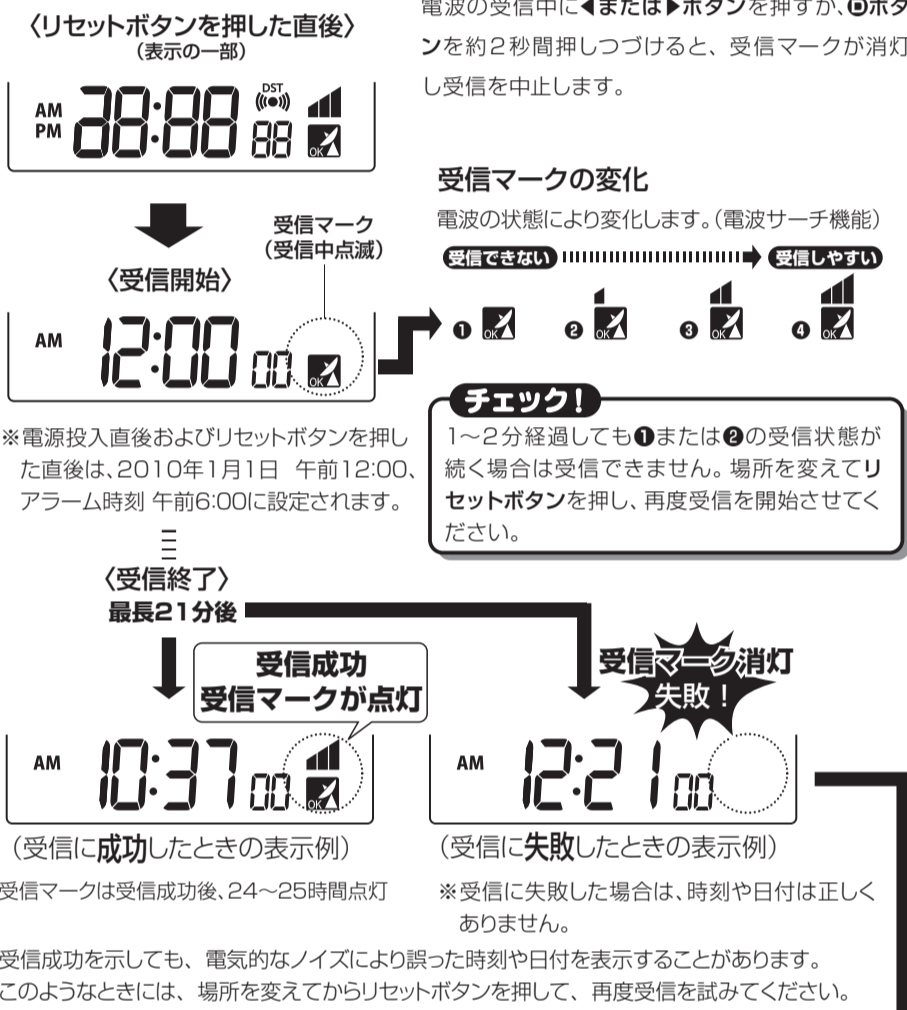
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

- 電波を受信しやすい窓際などに置いてください。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形マンガン乾電池を2個入れる
 - リセットボタンをボールペンの先などで押すと「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します
 - 電池を入れた後は、必ずリセットボタンを押してください。
 - 受信中はボタンに触れないでください。
 - 受信結果を確認する ※【受信の流れと表示】参照
 - 最長で約21分間受信を行いますので、終わるまで待ちます。
 - 受信マークで受信結果を確認してください。
 - 点滅：受信中
 - 点灯：受信成功
 - 消灯：受信失敗 → **電波を受信できない場合**へ

【受信の流れと表示】

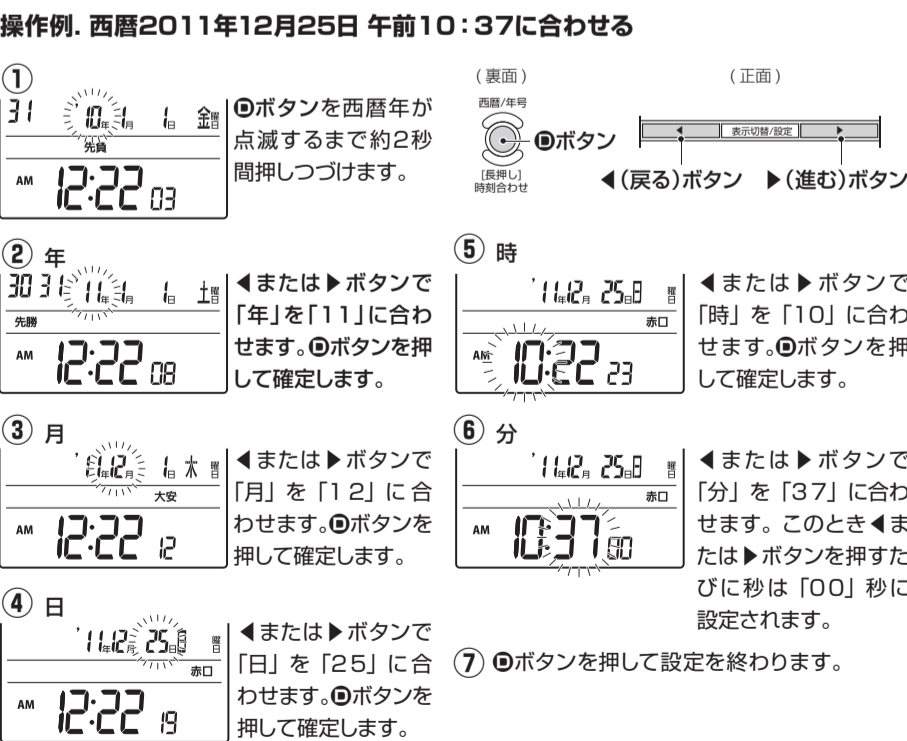


電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
 - 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
 - 場所を変える / 受信をやり直す
 - 電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。
 - 手動で時刻を合わせる
 - 手動で日付と時刻を合わせてください。時間精度はクオーツ精度になります。
- 受信できない場合は、下記の操作で日付と時刻を合わせるによりご使用になれます。

手動での時刻合わせ … 電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

- ① **⊖**ボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづけます。日付を合わせるときには、西暦年での設定になります。
- ② 操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。
 - ◇ **◀**または **▶**ボタンを押して数値を合わせます。押しすぎると1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
 - ◇ **⊖**ボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると日付と時刻を修正します。
- ※ **ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作** 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- 電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。
- 時刻は12時間と24時間の表示がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
- 電波の受信中に**⊖**ボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム状態/アラーム時刻設定中/マンスリーカレンダー操作中は、**⊖**ボタンを押しても、切り替わりません。



ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作

- 受信機能 OFF (手動で時刻を合わせる) 受信機能 ON (有効にして受信開始)
- リセットボタンを約1秒間隔で3回押ししてください。◀ボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に◀ボタンを離してください。定期的に電波の受信を行い標準時刻に合わせます。
- 「ピー」と鳴ったらすぐに押ししてください。
- 受信機能がOFFになると「ピー」と鳴りません。
- 年月日と時刻は手動で合わせてください。
- 操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
- 工場出荷時の設定は、電波受信機能は有効 (ON) になっています。

2. アラーム機能を使うとき

アラーム時刻を合わせる

- 表示例 アラーム時刻を午前6時20分に合わせる。
- ① **⊖**アラームセットボタンを約2秒間押しつづけるアラーム時刻を点滅表示します。
 - ② **◀**または **▶**ボタンでアラーム時刻を合わせる **◀**または **▶**ボタンを押してつづけると早く変わります。
 - ③ **⊖**アラーム時刻合わせを終わる およそ5秒間ボタン操作をしないと、現在時刻の表示に切り替わります。
- AM(午前)/PM(午後)の表示に注意 表示されていない場合は24時間表示です。
- ◀(戻る)ボタン ▶(進む)ボタン

アラームのON/OFFを設定する



アラーム音の試聴

アラーム時刻を現在時刻より、1~2分進んだ時刻に合わせて、アラームスイッチをONにしてください。設定時刻にアラームが鳴り出します。

アラームご使用上の注意

アラームマーク(●)が点灯しているときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。

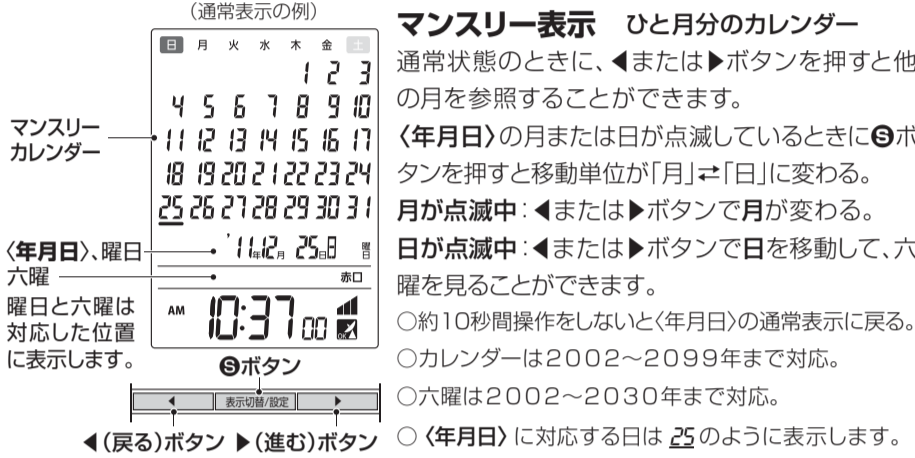
オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

スヌーズ機能 (止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音が停止します。このときアラームマーク(●)が点滅します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(●)は点灯表示になります。

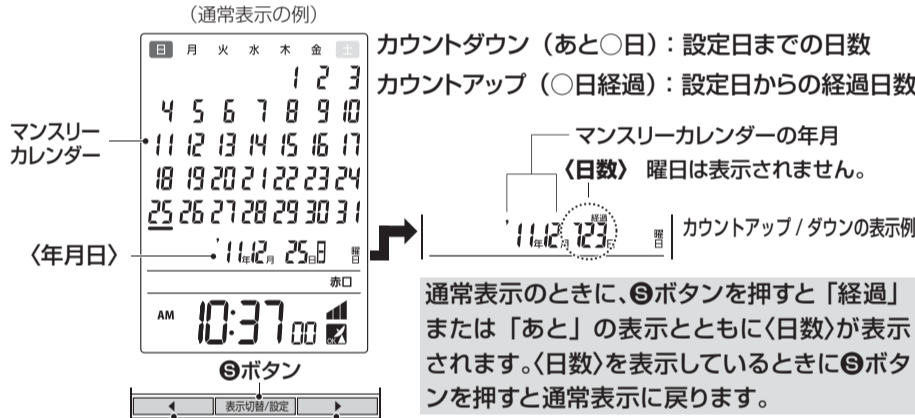
3. カレンダー機能を使うとき



年表示 西暦/平成切り替え 西暦2000年代の末尾2桁表示。⊖ボタンを押してすぐ離すと西暦⇄平成が切り替わります。

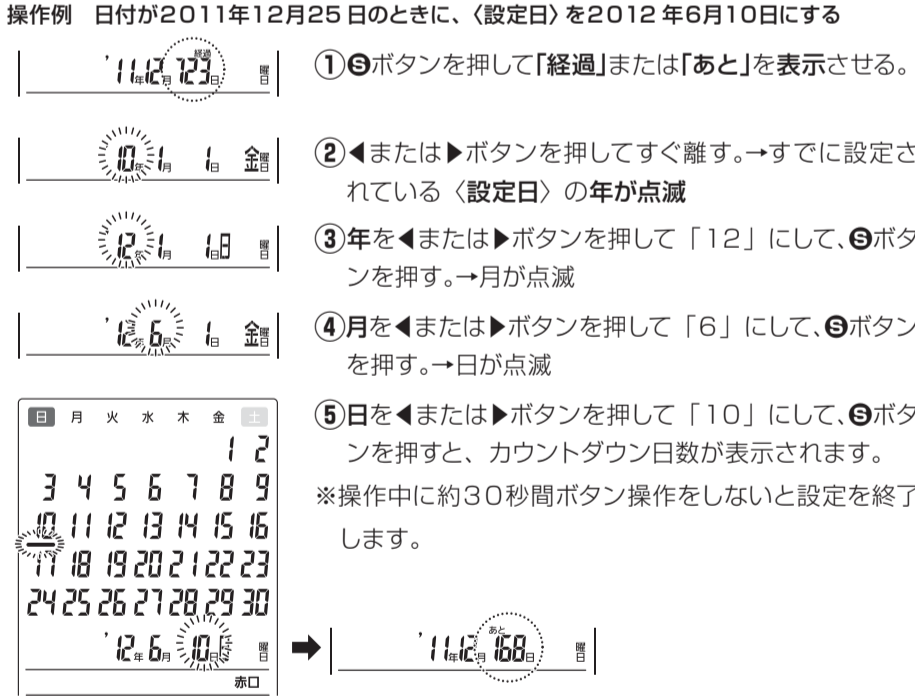


4. カウントダウン/アップを使うとき

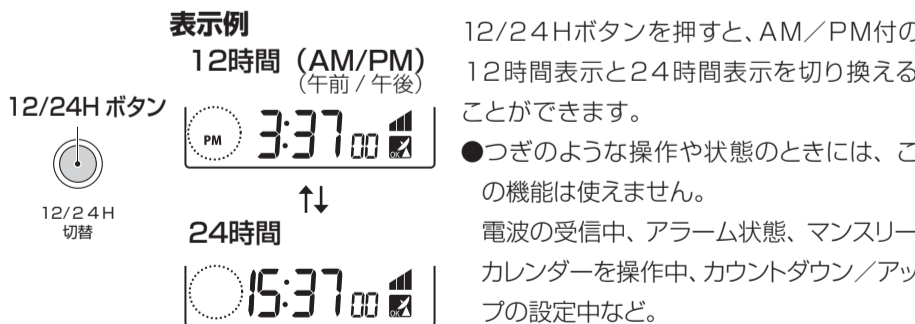


- 電池を入れた直後やリセットボタンを押すと、2010年1月1日が〈設定日〉になります。
- カウントダウン/アップの機能を無効にすることはできません。
- 日数が999日を越えたときは、「---」表示になります。
- マンスリーカレンダー上の〈設定日〉は数字の下のバーが点滅し、〈年月日〉に該当する日は、数字の下のバーが点灯します。(例: 25)
- 電波を受信しているときは、カウントダウン/アップの表示に切り替わりません。

〈設定日〉の操作手順



5. 時刻表示形式の切り替え…12時間表示と24時間表示



6. 表示面の照明

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと約3秒間、液晶表示面を照明します。照明されているときには、時計正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読み取れないことがあります。

電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎの注意をお守りください。
- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

静電気の影響について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。